

第80回

全国産業安全衛生大会

大会テーマ

働く人の安全・健康・幸せを
未来に伝える人づくり

見どころ 聴きどころ

大会を詳しく解説

2021
IN
東京



開催期間

現地開催：令和3年10月27日(水) → 29日(金)

オンライン開催：令和3年10月27日(水) → 11月30日(火)

会場

総合集会：10月27日(水) 東京国際フォーラム (ホールA)
(千代田区有楽町)

分科会：10月28日(木)、29日(金) 東京国際フォーラム (ホールB5、B7、C)

参加料

一般：13,200円(税込) 中災防賛助会員：6,600円(税込)

追加料金なし！すべてのオンラインコンテンツをご利用できます。詳しくはP.3へ！

目次

大会・オンライン配信について	P.2
申込要綱・申込方法	P.3
東京国際フォーラム館内図	P.4
現地スケジュール 総合集会	P.4
現地スケジュール 講演・パネルディスカッション	P.5
現地スケジュール 研究発表等	P.6~7
オンデマンド配信限定研究発表一覧	P.4~5

大会公式ウェブサイト

<https://www.nep-sec.jp/taikai2021/>

お申込み、
詳細はこちら！



中災防 全国大会

検索

同時開催
参加費無料

緑十字展2021～働く人の安心づくりフェア in東京～ 東京国際フォーラム(ホールE)

APOSHO35 (アジア太平洋安全衛生大会) サテライト会場(ホールD1)

主催：中央労働災害防止協会

協力：公益社団法人東京労働基準協会連合会

協賛：建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、
林業・木材製造業労働災害防止協会、各都道府県労働基準協会(連合会)

後援：厚生労働省、国土交通省、環境省、スポーツ庁、警察庁、ILO駐日事務所、東京都、

一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、

一般社団法人東京経営者協会、東京商工会議所、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会、

一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会、公益社団法人日本保安用品協会、NHK(順不同)

全ての働く人々に安全・健康を～Safe Work, Safe Life～

JISHA 中災防
Japan Industrial Safety & Health Association



第80回 全国産業安全衛生大会運営事務局

TEL：03-6812-8673

E-mail：taikai2021@nex.nikkei.co.jp



第80回記念大会は初の

現地開催 (東京国際フォーラム) と、
大会史上初のオンライン開催 (ライブ配信・オンデマンド配信) を、
組み合わせて開催いたします。

現地参加は事前「参加予約」制です。

ご希望の方は、現地会場 (東京国際フォーラム) でご聴講いただくことも可能です!
本大会の「**参加申込**」と「**参加予約**」についての詳細は **P.3** をご確認ください。

※発表内容はオンデマンド配信されるものと同じです。

※会場での新型コロナウイルス感染症対策については **P.8** をご確認ください。

現地参加の方も
ご利用できます!

オンライン開催のメリット

期間中なら、いつでも視聴可能!
今までは見れなかった同じ時間の発表も、
気にせず全て視聴できます。

オンラインでほぼ全ての講演・研究発表を配信いたしますので、「気になっているのに時間がかぶっているからどちらかで我慢しなきゃ…」という心配がありません。

気になる発表は何度でも!
繰り返し視聴OK!

聞き逃したとしても、戻って確認できるので安心です。

発表資料を、PCやスマホで
いつでもどこでも自由に入手できる!

従来と違い、発表資料をいつでもお手元に。各講演・研究発表のページから発表者からご用意いただいた資料をダウンロードできます。

現地のすきま時間も有効活用できる!

講演の隙間時間、お昼休みにも。お手持ちのスマホやPCでオンデマンド配信をご視聴いただけます。

ライブ配信とオンデマンド配信が視聴可能



ライブ配信とは…総合集会及び現地開催されている講演の映像をリアルタイムでご視聴いただける配信形式です。ライブ配信された映像は、編集の上、後日オンデマンド配信させていただきます。



オンデマンド配信とは…収録・編集された映像をご視聴いただける配信形式です。大会会期中は何時でも何度でもご視聴いただけます。



従来の大会からの変更点

現地での研究発表の質疑応答を中止し、特設ウェブサイト上での質問受付に変更いたします。それに伴い、発表時間が **20分 (質疑応答あり) → 15分 (質疑応答なし)** に変更となります。

新型コロナウイルス感染症対策の観点及び環境への配慮として例年配布させていただいております案内書、プログラム、及び研究発表集についてはペーパーレス化し、特設ウェブサイト上での公開へ切り替えてのご提供となります。

プログラム／開催方法		現地開催 (リアル)	オンライン開催	
			ライブ配信	オンデマンド配信
総合集会		10/27	○	11/1 ~ 11/30
分科会	講演／パネルディスカッション	10/28, 29	○	
	官民協議会		10/28	
	研究発表 ⁽¹⁾	現地発表	10/28, 29	×
		オンライン発表	×	×
				11/28 ~ 11/30

(1) 研究発表の配信は、発表パターンを問わず、事前に発表者からご提出いただいた発表映像をオンデマンド配信します。現地発表のライブ配信はありません。 ※一部変更の可能性あります。

ハイブリッド開催になります。

申込要綱



日程

現地開催：令和3年10月27日(水)→29日(金)
オンライン開催：令和3年10月27日(水)→11月30日(火)



現地開催会場

東京国際フォーラム(千代田区有楽町)



参加費

一般 1名：13,200円(税込)

中災防賛助会員 1名：6,600円(税込)

※賛助会員加入口数1口につき、1名様分の適用になります。

※加入口数を超えるお申込分は、一般価格となります。



申込方法

お申込みは全国産業安全衛生大会公式ウェブサイトよりお申込みください。
FAXやお電話でのお申込みは受け付けておりません。申込方法については、ページ下部をご確認ください。

申込は
オンラインで!



申込締切日

令和3年11月29日(月) 23:59



キャンセルについて

お申込み後の参加取消をされる場合、右記のキャンセル料を頂戴いたします。なお、返金手数料はご負担いただけます。



東京国際フォーラム
© TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO., LTD.

お申出期間	キャンセル料	返金手数料
～9月30日(木) 23:59	なし	ご負担願います。
10月1日(金) 0:00～ 26日(火) 23:59	参加費の80%	ご負担願います。
10月27日(水) 0:00～	参加費の100%	

参加申込方法

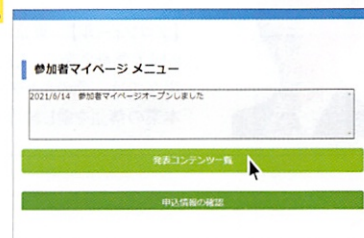
6月1日～申込受付中!

- 1 オンライン申込ページにアクセスし、必要事項を入力して参加申込を行ってください。



オンライン申込ページ
<https://www.nep-sec.jp/taikai2021/>

- 2 参加受付メールが自動で配信され、参加者マイページへのアクセスが可能となります。マイページにログインすることでコンテンツをすべてご利用できます。



- 3 お申込情報を確認後、参加費確定のメールをお送り致します。請求書は事務所より発行し、郵送にてお届けします。※確認に10営業日前後頂きます。

現地参加ご希望の場合

7月1日～ご予約受付中!

現地参加を希望される方は、マイページログイン後、聴講したいプログラムの「参加予約」を行ってください。



現地会場へお越しいただく際には、マイページから参加証を印刷し、会場へご持参ください。各分科会会場に設置された入場ゲートで参加証をご提示のうえ、ご入場ください。また、参加証(QRコード)の提示で同時開催の緑十字展にご入場いただけます。





ホールE (地下2階)
併催：緑十字展



ホールD
併催：APOSHO35



ホールA | 総合集会

10月27日(水) 12:10 ~ 15:10

《第一部》

現地講演 ライブ配信 オンデマンド配信

開場 11:30

開会式 12:10~13:20

表彰式 令和3年度 中央労働災害防止協会会長賞表彰、顕功賞表彰、緑十字賞表彰

大会宣言

《休憩》

《第二部》

講演 13:30~14:00 厚生労働省労働基準局

中間体操 14:00~14:10 中災防ヘルスケア・トレーナー

特別講演 14:10~15:10 「笑顔の日本語 ~ユーモアコミュニケーション~」 落語家 三遊亭 円楽氏



会話の少ない現代社会において、人をつなぐ言葉。

そこにユーモアを加え、笑顔で暮らす毎日がいかに素晴らしいかなどについてお話しいただく。

【プロフィール】 東京・両国育ち。青山学院大学在学中、師匠・五代目三遊亭円楽の目に留まり、落語の世界に誘われ、前座修行をしながら同大学を卒業。入門時から将来を嘱望され、昭和52年(1977年)には、弱冠27歳にして笑点の大喜利レギュラーメンバーに抜擢される。現在では、そのキャラクターは大喜利に欠かすことのできない存在となっている。また、その間数多くのテレビ・ラジオに出演し活躍してきたが、本業の落語を愛し続け、現在は精力的に独演会を催し、将来の大き看板を目指して研鑽を重ねる。

現地講演 ライブ配信

オンデマンド配信限定 研究発表一覧

<p>全員参加で「安全・安心に仕事が楽しめる」職場づくり 川崎重工工業株式会社 明石工場 モーターサイクル&エンジンカンパニー 生産本部 エンジン製造部 鉄機械加工課 石山 達也</p>	<p>元自衛官の目から見た企業の安全衛生活動—日鉄鋼管を例に— 日鉄鋼管株式会社 安全環境防災部 石橋 督悦</p>	<p>送電線工事における電線ドラム運搬時の落下防止策について 株式会社 ユアテック 本社 電力インフラ本部 送電部 送電グループ 佐藤 誠</p>
<p>ヒヤリハット活動問題点の改善と新たな取り組み 日本貨物鉄道株式会社 関西支社 安全部 中俣 秀康</p>	<p>人にやさしい作業現場を提供する次世代の安全、協調安全の様々な分野での活用事例 IDEC株式会社 本社 協調安全・VisionZeroグローバル推進部 協調安全・社会実装推進グループ 前田 育男</p>	<p>「既設マンホール鉄蓋取替時のケーブル養生装置」の活用に向けた取り組みについて 株式会社 ユアテック 岩手支社 工務部 土木建築課 盛 博嗣</p>
<p>希硫酸補充作業改善 DOWAハイテック株式会社 めっき加工部 鈴木 隆太</p>	<p>過去の災害から学んだ災害「0」活動への取り組み 日産自動車株式会社 栃木工場 第一製造部 圧造課 秋田 正義</p>	<p>弊社で過去に発生した重機災害を教訓とした同種災害防止に向けた取り組みについて 株式会社 ユアテック 本社 情報通信本部 情報通信部 技術管理グループ 齋藤 仁</p>
<p>殿物排出作業時におけるリスク対策 株式会社 卯根倉鋳業株式会社 北部事業所 宮本 純一</p>	<p>新たな工法へのチャレンジ ~安全を築くために~ 仙建工業株式会社 仙台鉄道支店 五橋建築作業所 宮淵 雅也</p>	<p>VR技術を用いた活線監視員の能力評価法の開発 東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 神領電気区 田上 剛</p>
<p>「労働安全衛生マネジメントシステム」認証取得への指導体験 榎本労働安全コンサルタント事務所 榎本 輝雄</p>	<p>製鉄所の検査ラインにおける作業環境改善 日本製鉄株式会社 九州製鉄所 八幡地区 棒線部 分塊工場 検査課 加賀野 裕一</p>	<p>土木建造物における「設備管理上の盲点」追及の取り組み 西日本旅客鉄道株式会社 岡山新幹線土木技術センター 本田 正和</p>
<p>洗濯機ライン 重大災害リスク低減 株式会社 エコリサイクル 安全部門 浜松 康介</p>	<p>T-434-Rモーター点検作業の安全化 JFE物流株式会社 西日本事業所 倉敷地区 運転業務室 加地 功</p>	<p>大分保線所安全の取り組み 九鉄工業株式会社 北九州支店 北九州支店 門司保線所 今永 椋也</p>
<p>No.1スラグベルトコンベア下の落釜回収作業の見直し 小坂製鉄株式会社 製錬部 銅溶錬課 熊谷 博樹</p>	<p>制御部の英知を結集 新たな道具で安全化 ~クレーン保全リスクゼロへの挑戦~ JFEスチール東日本製鉄株式会社 熱延制御室 加賀屋 歩夢</p>	<p>「触防違反」再発防止の取り組み ~remember11.5~ 九鉄工業株式会社 福岡支店 福岡保線所 森景 勇斗</p>
<p>Vision Zero活動による「安全文化」の構築 IDEC株式会社 生産・SCM本部 赤松 浩二</p>	<p>事前予知力向上による災害の未然防止 日産自動車株式会社 追浜工場 製造部組立課 佐藤 祐司</p>	<p>労働災害防止、熱中症及び感染症予防対策について 株式会社 日本貨物鉄道株式会社 愛知機関区 内山 拓也</p>
<p>保線業務における労働災害防止の取り組み 西武鉄道株式会社 工務部 保谷保線所 下薄 和茂</p>	<p>配電工事における安全性および作業効率の向上に向けた技術開発について 株式会社 ユアテック 本社 電力インフラ本部 配電部 技術高度化グループ 小林 篤</p>	<p>2.22列車衝突事故は語る!! ~事故防止「道場」で安全の「土壌」を創造する!~ 九州旅客鉄道株式会社 小倉運転区 菊谷 健次郎</p>

10月28日(木)

9:30 開場



10:00 ~ 10:50

「活かし・つなぐ活動」の進め方
~コロナ禍と安全活動の共通課題を考える~

●安全と人づくりサポート 代表 古澤 登



11:00 ~ 11:50

勝ちぐせをつくる組織文化を作るリーダーの役割

●株式会社ボックス 代表取締役 中竹 竜二



12:45 ~ 13:35

多様化する社会 一人ひとりが輝く働き方を考える
~ギグワークにおける安全衛生とプラットフォームのあり方~

●株式会社イミ 代表取締役 小川 嶺
(小川 嶺)
●株式会社イミ 執行役員 ギグワーク研究所 所長 石橋 孝宣
●厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 安達 栄
●中央労働災害防止協会 健康快適推進部長 林 かおり

13:45 ~ 14:05 特別報告

Safe Work TOKYO 建設死亡災害緊急対策の実施

●厚生労働省 東京労働局 労働基準部 安全課長 山崎 琢也

14:05 ~ 14:25 特別報告

第13次東京労働局労働災害防止計画期間中における
熱中症予防対策の推進状況

●厚生労働省 東京労働局 労働基準部 健康課長 関 憲生



14:35 ~ 15:25

「渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く」

●シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役CEO 渋沢 健



15:40 ~ 16:40

難しい! ISO45001、JIS Q 45100認証取得!!

●明治大学 名誉教授 向殿 政男
●日本製鉄株式会社 安全推進部長 朱宮 徹
●住友化学株式会社 大阪工場 環境安全部長 辰馬 正彦
●厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 安達 栄

10月29日(金)

9:30 開場

10:00 ~ 11:00 パネルディスカッション

改正THP指針への対応
~PDCAを進める効果的な健康確保対策~

●産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学教授 森 晃爾
●味の素株式会社 グローバルコーポレート本部
グループニューワークプレイス創造班長 西野 大介
●味の素株式会社 川崎事業所 総務・企画グループ長 兼 グループ健康推進センター(川崎)
兼 人事部人材開発グループ 猪俣 哲
●産業医科大学 産業生態科学研究所
産業保健経営学 特任助教(HOYAグループ産業医) 小田上 公法
●厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課長 高倉 俊二

11:15 ~ 12:15 パネルディスカッション

衛生管理者職務のダイバーシティ化と生産性確保を目指して

●全国衛生管理者協議会 事業検討委員長 HOYA株式会社 環境・安全衛生部
環境・安全衛生グループ 環境・安全衛生統括マネージャー 神津 進
●全国衛生管理者協議会 事業対策委員
椎野労働衛生コンサルタント事務所 代表 椎野 恭司
●全国衛生管理者協議会 事業検討委員 (合)アール CEO 對木 博一
●全国衛生管理者協議会 事業検討委員
高エネルギー加速器研究機構 安全衛生推進室 特別事務専門職 田嶋 政美
●全国衛生管理者協議会 会長
中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 所長 川本 俊弘



13:15 ~ 13:45

最前線の安全体感教育
~リアル体感を超える仮想現実(VR)の無限の可能性~

●株式会社明電舎 取締役 兼 専務執行役員 竹川 徳雄



14:00 ~ 14:50

日本マクドナルド
~多様な人材がスマイル&ハッスルで働くために~

●日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長 兼 CEO 日色 保



15:05 ~ 15:55

技能継承の行き詰まり ~システムの解消が大切~

●東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授 中村 昌允

鎖と移動禁止札を活用した複数班作業時の労働災害防止対策 九州旅客鉄道株式会社 小倉総合車両センター 熊手 雄大	RSTトレーナーとしての役割と今後の展望 RSTトレーナー会 兵庫 瀬川 勝弘	交通KYによる危険感受性向上への取り組み 日産自動車株式会社 栃木工場 品質保証部 品質保証課 海老原 隆裕
「睡眠に関する取扱誤りは起こさない!!」 ~睡眠意識改革・睡眠へのハード対策~ 九州旅客鉄道株式会社 直方運輸センター 中村 政和	感電災害の撲滅を目指して 西武鉄道株式会社 車両部 池袋線車両所 武蔵丘車両基地 小池 秀光	ドライブレコーダー映像の活用による安全運転を意識させる 取り組みについて 株式会社ユアテック 本社 安全・品質管理部 安全グループ 高橋 徹
「過去の事象から学び、安全の本質について考える」 名工建設株式会社 本店 軌道本部 静岡軌道部 浜松軌道事務所 山本 理志	若手および中堅研究者を対象にした安全衛生教育の取り組み 一般財団法人 電力中央研究所 横須賀運営センター 辻 博文	業務車両運転者におけるSASスクリーニング検査の重要性 ~居眠り運転事故ゼロへ~ 株式会社日立ビルシステム 関越支社 健康管理センター 小笠原 美和
STT(ショートタイムトレーニング)の取組みについて 東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 営業部業務課 原田 晋一	絶縁タワー転倒に伴う作業員の墜落事象に関する再発防止の取り組み 東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社 新潟電力技術センター 佐藤 尚也	新幹線の新職場 ~安全を提供するための3S・カイゼン活動~ 北海道旅客鉄道株式会社 函館新幹線総合車両所 検修 熊谷 祐太
基本動作統一の取り組みについて 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 千葉運輸部 秋葉 勇輝	異常時における迅速かつ安全な対応に向けたブラインド型訓練の導入 東海旅客鉄道株式会社 新幹線鉄道事業本部 関西支社 大阪線所 竹則 皓基	職場環境改善による安全性向上を目指して 株式会社西日本テクノス 網干支店 車両検修統括部 車体課 上村 陸人
ポイント清掃時の安全性の向上を目指した考動 西日本旅客鉄道株式会社 西明石駅 植木 武志	災害ゼロへの取り組み 株式会社建機ティエラ 滋賀製造部第二組立課 松本 達明	近鉄における健康経営の取り組み~安全衛生意識向上および過重労働者の健康チェック~ 近畿日本鉄道株式会社 人材開発部 生産本部 エンジン製造部 鉄機械 加工課 械加工課 田島 学
安全への意識づけがもたらした1人ひとりの安全行動のレベルアップ 東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社 仙台機械技術センター 中村 竜也	リスクベース思考プロセスの更なる定着に向けた取組み 西日本旅客鉄道株式会社 古川川保線区 西田 康貴	白山作業所における安全衛生活動への取組みについて 名工建設株式会社 白山作業所 東京支店 建築部 徳田 俊宏
重大労災リスクを抑え込む「現場での見える化」 西日本旅客鉄道株式会社 安全推進室 伊藤 大輔	「災害を糧に」~安全活動の取組み~ 日産自動車株式会社 栃木工場 第三製造部 第二車輪課 河島 正樹	DX活用の試みと5S活動による安全衛生管理活動の取り組み 株式会社バイオコクーン研究所 棚倉工場 下茂 洋一
「安全第一を第二工務課の文化にする」への取り組み 日産自動車株式会社 栃木工場 第二製造部 第二工務課 関谷 裕一	危険体感研修による安全教育について AGC株式会社 AGC横浜テクノカルセンター 環境安全部 平山 義光	
当職場における、仕事の本質を理解する取組み 東日本旅客鉄道株式会社 東京電車線技術センター 猪又 健司	社有車事故撲滅に向けた物的・管理的対策の取り組みについて 株式会社ダイフク 滋賀事業所 安全衛生管理本部 安全推進部 滋賀G 金織 静枝	

10月28日(木)

時間	ホールB7-1	ホールB7-2	ホールB5-1	ホールB5-2
分科会	安全管理活動分科会 (第1会場)	メンタルヘルス・健康づくり分科会 ゼロ災運動分科会 交通安全分科会	製造業安全対策官民協議会特別セッション ダイバーシティ&インクルージョン分科会 (海外、エイジフレンドリー、防災、 コロナ、働き方改革等含む)	労働衛生管理活動分科会 安全管理活動分科会 (第2会場) 第三次産業分科会 中小事業場分科会
9:30	開場	開場	開場	開場
10:00 ~ 10:15	安全な職場づくりを目指して 日産自動車(株) 追浜工場 品質保証部 部品保証課 柏木 秀予	従業員の特徴と課題を捉えた メンタルヘルス研修 ダイキン工業(株) 滋賀製作所 健康管理室 小溝 淳恵	製造業安全対策 官民協議会 特別セッション 製造業主要10団体と学識経験者、厚生労働省、経済産業省、中災防による官民が連携して、製造業における安全対策の更なる強化を目的として発足した本協議会は、今年5年目を迎えました。本セッションでは、明治大学名誉教授 向殿政男氏、東京大学名誉教授 田村昌三氏により「リスクアセスメントにおける危険源の特定手法」、「安全対策の費用対効果について」など本協議会での検討・取組状況が報告されます。また、「コロナ禍で経営者が考える安全衛生の人づくり」をテーマとするパネルディスカッションが行われます。	職場の感染症対策に終わりはない「見えない敵に打ち勝つ」全員で実行、健康保持! 東武ステーションサービス(株) 東武北千住駅管区 西新井駅 福田 海都
10:15 ~ 10:30	不安な行動撲滅に向けた「MyKY(私の作業の危険予知)」活動の推進について 株LIXIL 有明工場 総務課 城戸 司/山浦 朋浩	ICTを活用した新入社員への効果的な健康支援の検討 東日本旅客鉄道(株) JR東日本健康推進センター 保健看護室 矢古字 裕子		手作りパーティション導入による飛沫感染防止の取り組み 東日本旅客鉄道(株) 新幹線統括本部 上信越新幹線電力技術センター 千明 大介
10:30 ~ 10:45	「事務所主導から現場主体へ」現場の自主性を高める全員参加型安全活動の導入 JEF溶接管(株) スリッケー製造所 磐田工場 製造部 製造総括室 住川 希	オンライン衛生巡視で行うメンタルヘルス対策～テレワーク現場への試行～ 株コミュニケーションズ・アイ 経営本部 伊藤 おおる		私たち係員とお客さまの羅惹ゼロを目指して～新型コロナウイルス(COVID19)との戦いの軌跡～ 東急電鉄(株) 車両部 雪が谷検車区 小松田 健介
10:45 ~ 11:00				
11:00 ~ 11:15	特別報告 フォークリフト荷役技能検定制度の導入とその効果について	たかが腰痛されど腰痛 ～腰痛の一次予防は可能か～ 小田急電鉄(株) 小田急健康管理センター 武田 聖子		メンバーから熱中症は出さない!一人ひとりの体調変化をウェアラブルデバイスで早期把握 トヨタ自動車(株) 安全健康推進部 安全衛生支援室 安全2G 磯部 和幸
11:15 ~ 11:30	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 技術管理部 技術課長補佐 木下 健太郎	ドライバーのための良質な睡眠の取得について 九州旅客鉄道(株) 佐世保運輸センター 徳丸 祐樹		社員の健康を守るための新たな取り組み～感染症予防対策～ 近鉄グループホールディングス(株) 近鉄グループ総合健康管理センター 大阪健康管理センター 山本 麻希
11:30 ~ 11:45	歩者分離活動 ～フォークリフト災害撲滅～ AGC(株) AGC横浜テクニカルセンター ガラス部 型磨板課 宮崎 基行	「毎日のJR体操をしっかりとやって健康増進!」プロジェクト 東日本旅客鉄道(株) 仙台支社 郡山総合車両センター 佐藤 美咲		保護具の管理状況実態調査 一般財団法人 淳風会 淳風会健康管理センター 集団健診部 環境管理課 山下 庸介
11:45 ~ 12:45	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
12:45 ~ 13:00	「飛来・落下」災害防止対策に向けた「落下物危険エリア侵入警報装置」の開発について 株ユアテック 本社 技術開発センター 草刈 洋行	運動展望 積極的なKY活動の継続でイキイキとした職場づくりを目指そう 中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部次長 武井 勝一	トップ主導による社員活躍推進における女性活躍・外国人雇用の取り組み 第一工業製薬(株) 管理本部 人事部 人材管理グループ 櫻庭 紀子	東海道新幹線大規模改修工事における安全確保の取り組み 名古屋建設 日本坂事務所 静岡大規模改修部 内海 寛政
13:00 ~ 13:15	外来工事申請のWebシステム構築 日本精工(株) 生産本部 安全防火対策推進室 原 謙一郎		安全衛生活動とコラボした取組みやすいエイジフレンドリー職場の作り方 サンエイ(株) 安全衛生推進部 神崎 友子	「知っている」が「できる」ではない 訓練方法の抜本的見直し JR九州電気システム(株) 南部九州支社 岩塚 祐樹
13:15 ~ 13:30	重点指向で取り組む 「爆発・火災」未然防止活動 トヨタ自動車九州(株) 安全健康推進部 安全衛生推進室 柳 純平	危険感受性向上活動による安全な職場作り 日産自動車(株) 栃木工場 パワートレイン・EV性能開発部 運転性能計画/動力性能・開発グループ 松丸 孝一	日本国内の外国人材に対する安全衛生教育の現状と課題に関する調査研究 武蔵野大学 グローバル学部 島田 徳子	触車事故防止に向けた活動について 九州旅客鉄道(株) 長崎鉄道事業部 本所運輸 内田 貴洋
13:30 ~ 13:45		危険に対する感性の向上に向けた、より有効なKYの実能力習得への取り組み 株IHJ 瑞穂工場 航空・宇宙・防衛事業領域 生産技術部 西 雄司		
13:45 ~ 14:00	既存概念に囚われず、次世代に災害を発生させない職場づくり 日産自動車九州(株) 製造部 車体課 柏原 勝美		安全人間評価&評価結果の取り組み 株ジェイテクト 安全環境推進部 安全衛生グループ 鈴木 辰幸	黒崎駅構内短絡線における防触違反後の安全の取組みについて 九鉄工業(株) 北九州支店 折尾保線所 前田 剛志
14:00 ~ 14:15	保安力向上ビジョン2030における事業所ワーキンググループの取組みについて 太陽石油(株) 山口事業所 製造部 小林 航	事例報告 「グッドジョブ・ありがとう」で安全づくり! チームで育む安全環境 株レールセキュリティ 代表取締役社長 竹内 千里 ゼロ災推進教育課長 吉原 恵一	トヨタグループの健康・安全衛生ビジョンと変化する時代を生き抜く新たな取組み 全豊田安全衛生研究会 ダイハツ工業(株) 安全健康推進室 安全G 北村 剛志	軌陸重機(軌陸バックホウ)使用時の安全確保に向けた取組み 北海道旅客鉄道(株) 釧路支社 帯広保線所 上村 大貴
14:15 ~ 14:30	事業所間の安全点検について イーグル工業(株) 岡山事業場 業務部 安全環境課 川原 敬司		716名の安全活動 日産自動車(株) 栃木工場 工務部 第一工務課 金子 誠一	西武鉄道(株) 上石神井電気所 事故の芽活動について 西武鉄道(株) 電気部 上石神井電気所 城下 和雄
14:30 ~ 14:45		ドライブレコーダー(DR)を活用した社有車事故ゼロに向けた取組み 北川鉄工(株) ものづくり推進本部 安全・環境推進課 阪本 裕一		
14:45 ~ 15:00	当社流のHSE手法やHSE文化の醸成に向けた取り組みについて 石油資源開発(株) 本社 国内事業部 本部 操業部 芦原 均	タダノグループ総ぐるみの交通安全活動～コロナ禍でオンライン化の革新～ 株タダノ 志度事業所 総務部 安全衛生グループ 松原 新二	自社防災対応力の強化、地域防災力向上と防思想の普及に資する 植村建設(株) 安全衛生対策室 松平 明仁	100人規模のメンタルヘルス対策は立ち 話面談と同僚ケアで ダイケキックス(株) 開発管理グループ 安養寺 美貴
15:00 ~ 15:15	昔の玩具(おもちゃ)が大変身! ウルトラハンドで安全作業 JFEテクノリサーチ(株) 西日本ソリューション本部 福山材料評価センター 藤本 裕也		災害発生時における外国人旅客への効果的な避難誘導の研究 東日本旅客鉄道(株) 宇都宮車掌区 上武 寛明	コロナ禍のリモートワーク、ITベンチャーの取り組みと実態 株エボルブ Operation Design Division 阿世知 みさき
15:15 ~ 15:30	CC整備場 作業改善 JFEスチール東日本製鉄所(京浜) 岩崎 凌	特別報告 非定常作業の災害防止に有効な実践KY活動紹介 中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 ゼロ災推進課 上席専門役 笹尾 健臣	津波発生時を想定した列車からの避難誘導に関する乗務員の取り組み 九州旅客鉄道(株) 宮崎乗務センター 岩淵 優児	起業5年目、平均年齢28歳の若い会社の職長教育と雇入れ時教育 株千歳 建設事業本部 プラント事業部 畑山 充行
15:30 ~ 15:45				
15:45 ~ 16:00	ルーティンワークとして安全を「創る」安全風土を根付かせるために 九鉄工業(株) 福岡支店 土木課 市原 元紀	コロナ禍におけるゼロ災運動の推進 株東研 サーモテック管理本部 秋山 敦哉	安全向上 ワーク反転2人作業の廃止 株小松製作所 小山工場 リマン推進部 リマン技術グループ 山川 直樹	
16:00 ~ 16:15	全員参加の5S活動を活用した安全衛生活動について 山崎製パン(株) 武蔵野工場 人事課 亀山 隆之介	事例報告 表示を皆で考えて不安全な行動をしない人づくりを行う対策 マックス(株) オフィスプロダクツ営業部 次長 坂東 康史	現場主導で取組む重傷作業軽減活動 東芝キャリア(株) 富士事業所 富士コンプレッサー 製造部 コンプレッサー組立課 山本 武則	患者の安全優先の病院において、「職員の安全衛生の確保」に取り組んだ軌跡 JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター 富士見高原病院 島津 智宏
16:15 ~ 16:30	プラス1活動による現場力向上への取り組みについて～災害型 危険予知の導入から人材育成に繋がる活動～ 品川ロコ(株) 安全衛生室 山根 史英			

10月29日(金)

時間	ホールB7-1	ホールB7-2	ホールB5-1	ホールB5-2
分科会	マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会	安全衛生教育分科会 メンタルヘルス・健康づくり分科会	機械・設備等の安全分科会 AI・IoT等分科会	安全管理活動分科会(第2会場) 労働衛生活動分科会 化学物質管理活動分科会
9:30	開場	開場	開場	開場
10:00~10:15	ゼロから始めるJIS Q 45100 日本製鉄㈱ 名古屋製鉄所 安全環境防災部 安全健康室 中島 弘喜	事業場等における安全衛生教育、安全(危険)体感教育の事例 ㈱ダイフク 安全衛生管理本部 安全統括部 安全教育センター 前田 裕子	Microsoft365を用いた安全関連情報通知方法の改革 東日本旅客鉄道㈱ 大宮総合車両センター 総務課 加藤 真希弥	職場内における懸案、改善、提案に対する取り組み。(ヒヤリ・ハットを活用した職場) 日本貨物鉄道㈱ 関西支社 吹田機関区 福田 康介
10:15~10:30	ISO45001認証取得に向けた本社安全部門としての取り組み 日本製鉄㈱ 本社 安全推進部 佐野 嘉一	コロナ禍で見出したオンライン教育の可能性～化学物質管理の授業を例として～ 北海道大学 札幌キャンパス 安全衛生本部 川上 貴教	VR(360°空間3D-VR撮影)コンテンツによる安全教育の開発 武田薬品工業㈱ 光工場 EHS室 馬場 慎也	職場に潜むリスク根絶に向けた研究～重大災害の撲滅をめざし～ 東海旅客鉄道㈱ 東海鉄道事業本部 名古屋工場 車体センター 中村 将大
10:30~10:45	取ってよかった! JIS Q 45100 第一工業製薬㈱ 生産本部 四日市工場 総括課 山本 芳矢	安全衛生デジタル教育ツール開発による従業員の理解度統一・維持プロセス構築 リコーインダストリー㈱ 勝田事業所 CP生産事業部 CPものづくりセンター CP生産室 工程改善G 小林 正幸	安全管理ツール「スキルアップNavi」によるリモート安全管理について ㈱ジェイテクト 安全環境推進部安全衛生グループ 内藤 寛昭	「ルールと実践の乖離」は正のシステム化 西日本旅客鉄道㈱ 金沢新幹線総合指令所 石倉 勝
10:45~11:15				
11:15~11:30	特別報告 東大阪の町工場が挑むISO45001の仕組みを活用した起死回生の改善活動	現場に強い若手育成に向けた対話型遠隔安全パトロールへの挑戦! NTTインフラネット㈱ 東日本事業本部 関係越事業部 安全推進室 菊池 孝浩	AIを活用した先行指標による災害予防管理の提案 三菱パワー㈱ 安全環境管理部 現地安全推進グループ 中江 玄	安全・品質リスクアセスメント活動「一人ひとりがリスクを具体的に考えるために」 ㈱JR西日本テクノス 下関支店 安全推進部 品質課 山村 亮太
11:30~11:45	誰でもできる体力測定と転倒と腰痛を予防する体操の効果 ㈱神戸製鋼所 専務取締役 小島 一孫	誰でもできる体力測定と転倒と腰痛を予防する体操の効果 関西労災病院 治療就労両立支援センター 高野 賢一郎	ICT建機の納入説明時における転落・巻き込まれ防止活動 コマツカスターサポート㈱ 東京関東越カンパニー新潟事業部 長岡支店SC長岡SC 永井 智	鉄道用列車車を用いた分岐器交換作業における東北地方での安全管理体制の構築 東日本旅客鉄道㈱ 盛岡支社 一ノ関保線技術センター 計画課 栗澤 貴寿
11:45~12:00	深耕リスクアセスメント導入による隠れた危険源撲滅活動 富士フィルム㈱ 富士宮事業場 材料生産本部 事業場運営ユニット 環境安全グループ 安全衛生グループ 前田 博章	ライン管理者に対する実効ある安全教育の模索 日本製鉄㈱ 本社 安全推進部 朱宮 徹	大学における高圧ガス管理/監視システム 愛媛大学 大学院 医学研究科 浜井 盟子	鉄道用地内の安全で効率的な除草作業の一考察 東日本旅客鉄道㈱ 新潟支社 新潟保線技術センター 豊崎 和也
12:00~13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00~13:15	工場地下堆積残渣回収作業リスク低減 秋田精錬㈱ 浄液部 伊藤 拓也	内臓脂肪計を活用した生活習慣病対策の開発 イーグル工業㈱ 業務本部 健康推進部 笹川 明子	新規設備導入時における潜在リスクの抽出 有楽製菓㈱ 札幌工場 生産本部 生産1課 2係 中神 祐太	簡易版リスクアセスメントシートの開発 一般社団法人 日本印刷産業連合会 環境安全部 猪瀬 卓之
13:15~13:30		健康いきいき職場づくりに向けた"体系的"・"科学的"・"先進的"とくみのご紹介 ㈱神戸製鋼所 神戸総合技術研究所 技術開発本部 開発業務部 総務室 伊藤 圭介/中澤 栄利沙	物流現場に活用される自律移動ロボットへの協調安全システムの導入と効果検証 IDEC 本社 国際標準化・Safety2.0推進部 国際標準化・Safety2.0推進グループ 岡田 和也	迅速な薬品情報の把握を可能とする化学物質安全管理Webシステムの開発 国立大学法人 九州工業大学 飯塚キャンパス 技術部 本田 俊光
13:30~13:45	Mケースライン スタッカークレーン トロリー清掃作業 リスク低減活動 ㈱小松製作所 粟津工場 生産技術部 設備課第二センター 田中 碧	自らの健康を考える人づくり「節目健診(ハイレベル健診)」の取り組み トヨタ自動車㈱ 安全健康推進部ウェルポ運営室ウェルポ2G 鈴木 登代子	アルミ低圧鋳造職場の安全性向上 川崎重工工業㈱ 加古川工場 モーターサイクル&エンジンカンパニー 生産本部 エンジン製造部 加古川鋳造課 鎌松 一也	
13:45~14:00				
14:00~14:15	キャンノングループ独自の労働安全衛生マネジメントシステムの取り組み キャンノン㈱ 下丸子本社 人事部 安全衛生課 松本 真太郎	職場での運動習慣形成に向けた風土づくりの実施 東海旅客鉄道㈱ 健康センター 名古屋健康管理室 新屋 有紀	福井大学における工作機械の安全対策 福井大学 工学部 技術部 第一技術室 機械システム班 竹内 利幸	特別報告 作業者の経皮吸収曝露防護のために化学防護手袋の選定、交換を提案する 化学防護手袋研究会会長 田中 茂
14:15~14:30	中小事業規模の菓子製造業における包括的認証活動とISO45001の取り組み 有楽製菓㈱ 豊橋夢工場 マーケティング部 商品開発課 宇野 泰生	Honda健康宣言における健康づくりの取組み 本田技研工業㈱ 青山事業場 人事・コーポレートガバナンス本部 人事部 安全衛生管理課 米津 秀徳	気掛かり作業・設備のリスク低減に向けて 日本製鉄㈱ 東日本製鉄所君津地区 安全環境防災部 安全健康室 藍原 忠幸	
14:30~14:45	記録から有効性監査への変更による、リモート監査への応用 石油資源開発㈱ HSE統括部 佐々木 健	みんなで健康になろう! ~要健康管理者削減に向けて~ 京王電鉄㈱ 鉄道営業部 井の頭南管区 佐々木 英舞	マテハン機運転室昇降時の安全化 ~転落リスクゼロを目指して~ JFE物流京浜㈱ 原料物流部 原料物流室 原料重機班 香取 宏	有機溶剤による健康リスクの撲滅 東海旅客鉄道㈱ 浜松工場 車体センター 杉浦 拓実
14:45~15:00				
15:05~15:20	リスクアセスメントデータベースの活用による本質安全の推進 ㈱フジクラ EHS統括センター 市原 浩之	喫煙率低減への取り組み ㈱日立建機ティエラ 総務部 柏木 緑	IoTシステムを用いた暑熱環境の体調管理システムの開発 スターライト工業㈱ セーフティ・ライフサポートカンパニー 新商品開発部 東島 将俊	聴覚保護プログラムによる騒音性難聴対策強化(第2報)~移動騒音源の適正評価の検証 北海道セキスイハイム㈱ 健康推進室 飯 明香
15:20~15:35	安衛委員会、健康管理を柱とした業務上災害防止の仕組みについて 第一三共㈱ 品川・葛西研究開発センター 研究開発推進部 上坪 伸二	健康増進への取組み ㈱アステム 安全推進室 佐藤 政夫	ウェアラブル機器を利用した熱中症防止 JFEプラントエンジニア 千葉事業所 安全衛生室 田嶋 則行	オペレーティングフロアのガレキ落下防止・緩和対策工事(遠隔施工)の取り組み 日立GEニュークリア・エナジー㈱ 原子力生産本部 福島・廃位措置エンジニアリングセンタ 米谷 豊

オンデマンド配信限定

「ヒューマンファクターズ・アプローチによる安全管理」

講演 東京理科大学 経営学部 教授 伊藤 謙治



現代のシステムは技術進歩とともに大規模・複雑化し、そこで起こる事故も組織事故、ノーマル事故と呼ばれるように新たな様相を呈している。事故は表面的には人間のミスがきっかけとなっており、人間を取り巻く組織的・管理的な要因が根底にあるため、これらを包括的に扱うヒューマンファクターズの理論やアプローチが安全管理に利用されている。本講では、ヒューマンファクターズを援用した伝統的な安全管理のアプローチだけでなく、安全管理の新しい潮流となっている考え方やアプローチについてトピックス、実例を交え、解説する。

「これからの振動障害予防

講演 ~英国およびISO国際規格動向を中心に~



英国ノティンガムトレント大学 客員教授
ISO/TC108/SC4国際委員会 委員長 前田 節雄

今回の講演では、英国で主流になりつつある振動障害リスク評価管理方法を早急になが国で知っていただく必要があると思ひ、最新の手腕振動障害予防方法の考え方を紹介するとともに、ISO/TC108/SC4の国際規格策定動向について解説する。

※2021年7月1日現在

他にも
あります!

各講演等の詳細はこちら

<https://www.nep-sec.jp/taikai2021/lecturer/>



アクセスマップ

会場：東京国際フォーラム 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
 総合集会：ホールA 分科会：ホールB5、B7、C



JR線

- 有楽町駅より徒歩1分
- 東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅と地下1階コンコースにて連絡）

地下鉄

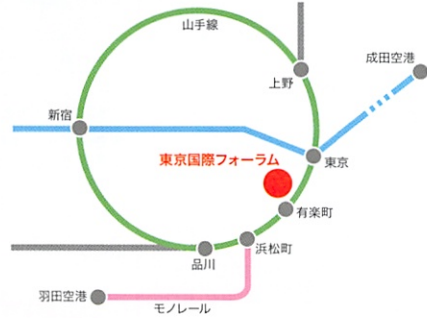
- 有楽町駅より徒歩1分（地下1階コンコースにて連絡）

成田空港から

- リムジンバスで東京駅まで80～90分
- JR成田エクスプレスで東京駅まで53分

羽田空港から

- モノレール浜松町駅まで23分
- JR浜松町駅より有楽町駅まで4分



感染症対策

1 ご来場の皆様へのお願い

- ◆ 発熱や咳、咽頭痛、味覚障害など体調がすぐれない方、本大会の開催日より14日以内に日本の入国規制国・地域への渡航歴がある方やその濃厚接触者、新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けられた方との濃厚接触歴のある方、いずれかに該当する場合は現地へのご来場をお控え願います。また会期中に体調不良が出現された方もご来場をお控えください。
- ◆ 体調不良等でご来場が困難になられた場合は運営事務局までご連絡ください。
- ◆ 会期中に体調不良となられた場合は他の参加者との接触を避け、速やかにスタッフへお申し出ください。
- ◆ 会場内では必ずマスクのご着用をお願い致します。マスク着用にご協力いただけない場合はご入場をお断りする場合があります。
- ◆ 会場入口にて検温を実施致します。37.5度以上の方はご入場をお控えいただく場合がございます。
- ◆ 会場内では設置されている消毒用アルコールにてこまめに手指消毒をお願い致します。
- ◆ 会場内では3密（密閉、密集、密接）を避け、ソーシャルディスタンス（できるだけ2m、最低1m）の保持にご協力ください。
- ◆ 会場内でのお食事はお控えください。
- ◆ 会場内では大声での会話はお控えください。
- ◆ ご来館の際は、東京都が提供する「東京版新型コロナ見守りサービス」及び国が提供する「接触確認アプリ（COCOA）」へのご登録にご協力ください。
- ◆ 万一感染者が発生した場合の拡大防止のため、政府・自治体から情報提供を求められた場合は、個人情報の取り扱いに十分注意しつつ、必要に応じて参加者の情報を提供する場合がありますのでご了承ください。

2 会場における感染症対策

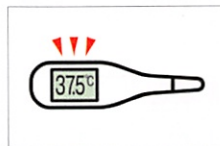
本大会では感染症対策として以下の取り組みを実施致します。

展示会業界における
COVID-19感染拡大予防
ガイドライン

（一社）日本展示会協会の「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」に準拠した運営を行います。



講演時に使用したマイクや演台等は使用ごとに除菌シートで消毒致します。



会場入口でサーモグラフィー等による検温を実施致します。



不特定多数の方が触れる箇所（ドアノブや手すり、机上、エレベーターボタンなど）は適時アルコール消毒致します。



会場内（受付や演台等）に飛沫防止シート及びパネルを設置致します。



会場内は換気システムにより換気を実施するとともに、定期的に会場の扉を開放します。

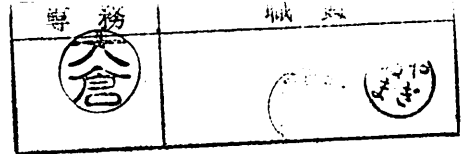


会場の入口や各所に消毒用アルコールを設置致します。



スタッフは毎日出勤前に検温を実施し、健康状態の確認を行います。また手洗い、手指消毒、マスクの着用を徹底致します。

※掲載のイラストはすべてイメージです。



令和3年8月5日

関係団体の長 殿

福島労働局労働基準部健康安全課長

8月以降における熱中症予防対策の徹底について

安全衛生行政の推進につきまして、日頃から格別の御配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、職場での熱中症予防対策については、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」等の取組を行い、関係団体等と連携し取り組んでいるところです。

今般、全国における7月末までに報告があった熱中症の件数（速報値）を取りまとめたところ、昨年同時期と同様に高い水準の発生状況となっています（別紙）。

例年、熱中症の発生は7月から8月にかけて急増するところですが、今般、全国で新型コロナウイルス感染症の感染者数が急増しており、職場においても感染防止対策と同時に熱中症予防対策の徹底が求められる状況にあります。

特に、夏場においては、感染防止の観点で実施される換気の影響により、屋内でも熱中症発生リスクの上昇が懸念されることから、夏季における室内の換気の方法、休憩場所での過ごし方、飲料水補給の方法等、感染防止対策を講ずることを前提とした熱中症予防対策に留意する必要があるところです。

つきましては、貴職におかれましては、8月以降の職場における熱中症予防対策の徹底に向け、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた対策の実施に留意する等により、熱中症予防対策に一層の取組を進めていただけるよう、関係事業場への周知について特段の御理解と御協力をお願い申し上げます。

参考1 リーフレット：

「熱中症予防に留意した「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000640913.pdf>

参考2 リーフレット：

「建設現場における熱中症予防と新型コロナウイルス感染防止」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000781018.pdf>

熱中症による月別の労働者死傷病報告数（全国）（令和2年、令和3年）（人）

	5月 以前	6月	7月	7月末まで の累積数
令和3年 ※同年7月末時点の 速報値	9 (1)	26 (0)	55 (2)	90 (3)

令和2年 ※同年7月末時点の 速報値	14 (1)	57 (0)	22 (2)	93 (3)
令和2年 ※確定値	18 (1)	85 (0)	115 (4)	218 (5)

8月	9月	10月 以降
651 (16)	84 (1)	6 (0)

- 令和3年においても同様に報告数が確定すると仮定すると、7月末までの累積確定数は200人以上に上ると推定される。
- 令和2年8月（確定値）において、650人を超える被災者が発生したことから、本年8月以降も職場における熱中症予防対策の更なる徹底が必要である。
 - ※ 括弧内は、死亡者数（内数）。
 - ※ 「5月以前」は1月から5月まで、「10月以降」は10月から12月までの合計。
 - ※ 休業4日以上労働災害に係る労働者死傷病報告及び都道府県労働局による把握人数。

（参考）令和2年の職場における熱中症による死傷災害発生の概要

職場での熱中症による死傷者（死亡・休業4日以上）は、前年を上回り、959人と依然として多く、うち死亡者は22人となっています。死傷者については、全体の4割以上が建設業と製造業で発生しています。また、入職直後や夏休み明けで暑熱順化が十分でないと思われる事例や、WBGT値を実測せず、WBGT基準値に応じた措置が講じられていなかった事例もあります。死亡災害の発生は8月に集中し、死亡者を業種別に見ると、建設業7人、製造業が6人などとなっています。死亡災害には、熱中症発症から救急搬送までに時間がかかっていると考えられる事例も含まれています。

～ 換気機能のない冷暖房設備を使っている商業施設等の皆さまへ ～

熱中症予防に留意した 「換気の悪い密閉空間」を 改善するための換気の方法

換気機能のない冷暖房設備（循環式エアコン）※¹しか設置されていない商業施設等の場合、外気温が高いときに、必要換気量を満たすための換気（30分ごとに1回、数分間窓を全開にする）※²を行うと、ビル管理法で定める居室内の温度および相対湿度の基準（28℃以下・70%以下）※³を維持できないときがあります。

新型コロナウイルス感染症のリスク要因の一つである「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気と、熱中症予防を両立するため、以下の点に留意してください。

窓を開けて換気する場合の留意点

- 居室の温度および相対湿度を28℃以下および70%以下に維持できる範囲内で、2方向の窓を常時、できるだけ開けて、連続的に室内に空気を通すこと※⁴。
 - この際、循環式エアコンの温度をできるだけ低く設定すること。
 - 1方向しか窓がない場合は、ドアを開けるか、天井や壁の高い位置にある窓を追加で開けること。
- 居室の温度および相対湿度を28℃以下および70%以下に維持しようとする、窓を十分に開けられない場合は、窓からの換気と併せて、可搬式の空気清浄機を併用※⁵することは換気不足を補うために有効であること。

空気清浄機を併用する際の留意点

- ◆ 空気清浄機は、HEPAフィルタによるろ過式で、かつ、風量が5m³/min程度以上のものを使用すること。
- ◆ 人の居場所から10m²(6畳)程度の範囲内に空気清浄機を設置すること。
- ◆ 空気のだよみを発生させないように、外気を取り入れる風向きと空気清浄機の風向きを一致させること※⁶。

熱中症の予防のためには、こまめな水分補給や健康管理など※⁷にも留意が必要です。


参考

換気機能を持つ冷暖房設備（空気調和設備）がある建築物の場合

建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）における**空気環境の調整に関する基準**に適合するように**外気取り入れ量などを調整**することで、**必要換気量（一人あたり毎時30m³）**※²を確保しつつ、居室の温度および相対湿度を**28℃以下および70%以下**※³に維持してください。

ビル管理法における空気環境の調整に関する基準（抜粋）

項目	基準
二酸化炭素の含有率	100万分の1000以下（=1000 ppm以下）
温度	1. 17℃以上28℃以下 2. 居室における温度を外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと。
相対湿度	40%以上70%以下

- ※ 1 エアコン本体に屋内空気の取り入れ口がある（換気用ダクトにつながっていない）エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、外気を取り入れ機能はないことに注意してください。
- ※ 2 換気の方法の詳細については、リーフレット「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法」を参照してください。
URL: <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000618969.pdf> 
- ※ 3 ビル管理法で定める居室内の温度および相対湿度の基準（28℃以下・70%以下）を維持していれば、軽作業を連続で行う場合の熱中症予防の基準値（暑さ指数（WBGT値）29℃）を超えることはありません。
- ※ 4 窓を開ける幅は、居室の温度と相対湿度をこまめに測定しながら調節してください。また、窓を開けるときは、防犯などにも配慮してください。
- ※ 5 空気清浄機は、換気を補完する目的で使用するものですので、窓を閉めて空気清浄機だけを使用しても十分な効果は得られないことに留意してください。
- ※ 6 間仕切りなどを設置する場合は、空気の流れを妨げない方向や高さとするか、間仕切りなどの間に空気清浄機を設置するなど、空気がよどまないようにしてください。
- ※ 7 熱中症予防対策の詳細については、リーフレット「熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に！」を参照してください。
URL: <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000642298.pdf> 